

# 財団 矢崎 研究助成14人決定 矢崎学術賞に2氏

矢崎総業は17日、矢崎学術賞に14人の研究助成者を決定した。研究助成金は、研究助成金のうち、一般研究助成

佐藤孝憲・兵庫県立大学大学院助教の「光演算回路のためのシリコンリング光共振器を用いた集積型可変フューズシフトおよびパワーデバイス」の開発など7人が選出された。過去に同財団から研究助成を受け、業績を上げた研究者に与えられる矢崎学術賞には、水口将輝・東北大学金属材料研究所准教授と

坂本良太・京都大学大学院准教授が選ばれた。また国際交流援助には13人が選出された。矢崎科学技術振興記念財団は、1983年以来、科学技術の発展を目的に研究助成事業を実施している。新材料、エネルギー、情報の各分野を対象に助成研究対象を選考する。

「成」に79件の応募があった。小野智司・鹿児島大学学術研究院准教授の「異常検知や変化点検知における教師信号付き学習データの合成方式の提案」を含む7人の助成を決めた。「奨励研究助成」は44件の応募の中から、